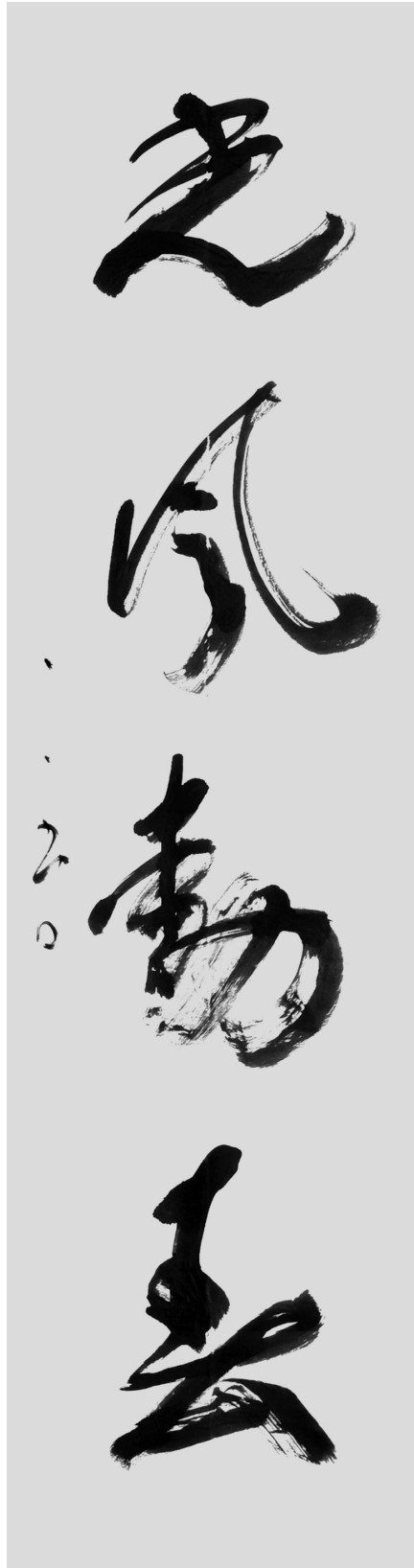


条幅部自由参考

4月25日正午必着

明石春浦先生書



光風動春 (溫日升)

光風は雨後に日出て吹く風。その爲め草木が皆光るによりかくいう。

三浦士岳先生書



淑景晴薰紅樹暖、蕙風輕汎碧叢低 (馮延登)

淑景は春景色、春の日ざし。蕙風は薰風。軽汎はそよぶく。碧叢は緑の草むら。

送_三僧還_三南海_一 (李 洞)
 春往_三海南_三邊_一 秋聞_三半_三夜_三蟬_一
 鯨吞_レ洗_レ鉢_レ水 犀觸_レ點_レ燈_レ船
 島嶼<sub>分_三諸_三國_一 星河_{共_三一_三天_一}
 長安_{卻_三回_三日_一 松偃_三舊_三房_{前_一}}</sub>

僧の南海に還るを送る 李 洞
 春に海南の辺りに往き 秋に半夜の蟬を聞く
 鯨は呑む 鉢を洗う水 犀は触る 灯を点せる船
 島嶼 諸国を分か 星河 一天を共にす
 長安 却回する日 松は旧房の前に偃さん

我が顔を 雨後の地面に近づけてほしいままにはこべを愛す (木下 利玄)

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

雨洗青山淨 (姚 合)

雨洗いて青山淨し

雨後の春の山野の景。

寺深松桂無塵事 (李 紳)
地接荒郊帶夕陽

寺は松桂に深く塵事無く
地は荒郊に接して夕陽を帯ぶ。

寺は松樹と桂叢の中に深くかこまれて幽邃閑寂である。

楚客經年病 今日方知命

孤舟人事稀 前年自覺非

晚晴江柳變 不能憂歲計

春暮塞鴻歸 無限故山薇

(劉 商)



明石幸子書

半紙部規定課題A

4月25日正午必着

我 相
會 思
不

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

4月25日正午必着

行書

相思不
我會

隸書

相思不
我會

明石春浦先生書

草書

相思不
我會

行草書

相思不
我會

世の中はいつたいたいどうなっているのだろう 東西にはるか離れて過す私たち
いつもすぐにも会えるかと思ひながら かえってながく便りもないということになってしまふ
田の麦は深く茂って雉をかくし 淮河の苔むす岸辺、水浅くして魚が見えてゐる
懐しく思慕しながら会うことができないままに あのさやかな月が幾たび満ち欠けたことか

寄友人一

張 蟻

世道復何如
東西遠索居
長疑即見面
翻致久無書
旬麥深藏雉
淮苔淺露魚
相思不我會
明月幾盈虛

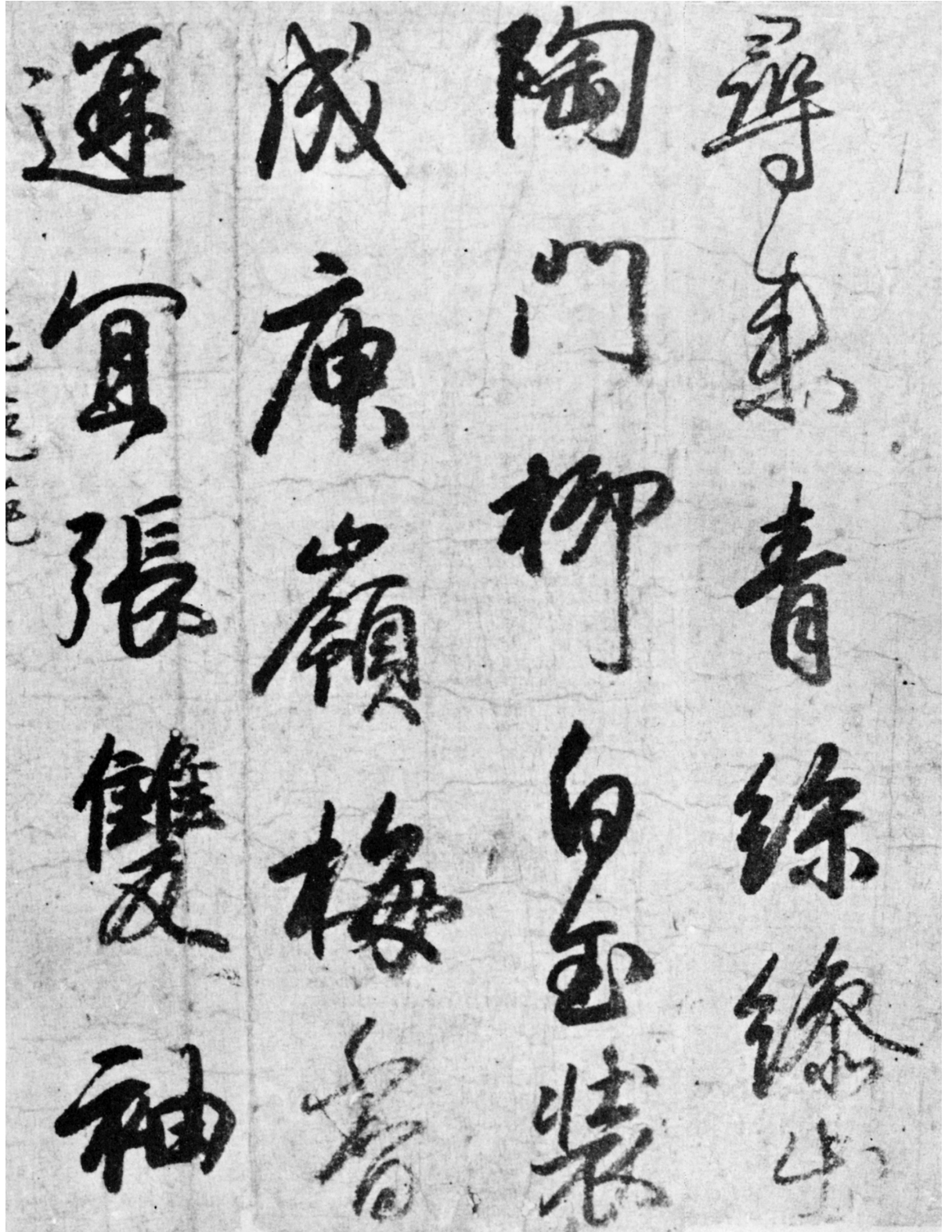
友人に寄す

張 蟻

世道 復た何如
東西 遠く索居す
長に疑う 即ち面を見るかと
翻つて致す 久しく書無きを
旬麥 深く雉を藏し
淮苔 浅く魚を露わす
相思えども 我と合せず
明月 幾たびか盈虚せし

(出典)

朝日新聞社刊
「三体詩」下より

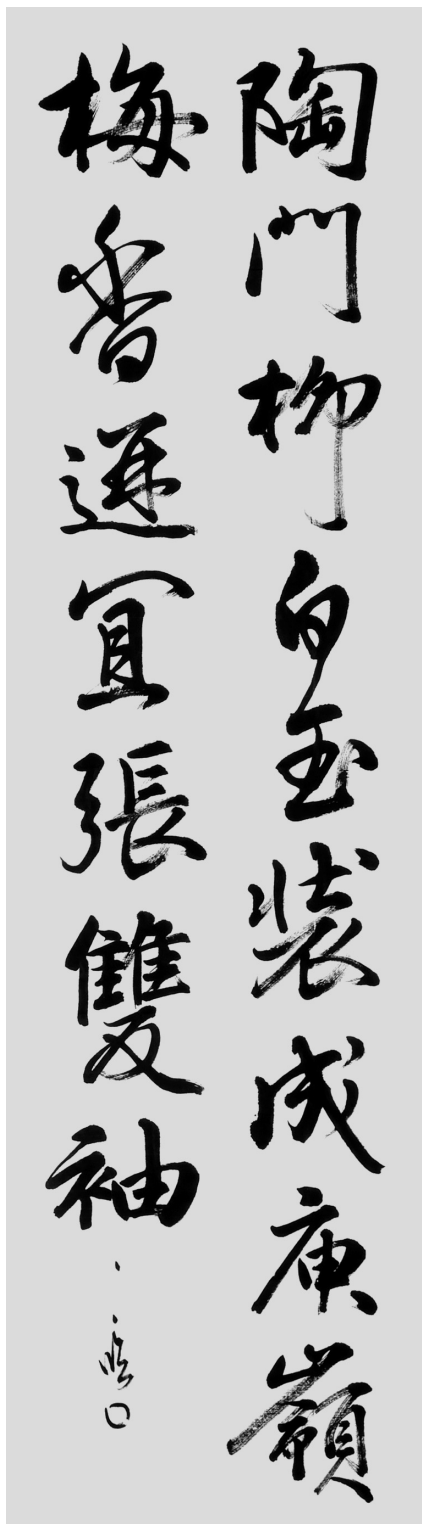


(晨興並馬共) 尋來 青絲繆出陶門柳 白玉裝成庫嶺梅 香進宜張雙袖(受)
(晨に興き馬を並べ共に) 尋ね来る。青糸繆り出だす陶門の柳。白玉装いを成す庫嶺の梅。香進りて宜しく雙袖を張って(受くべし。)

4月25日正午必着



(白玉装いを) 成す度嶺の梅。香 (送りて…)



(青糸繻り出だす) 陶門の柳。白玉装いを成す度嶺の梅。香 送りて宜しく雙袖を張って (受くべし。)

平安 小野道風・屏風土代

小野道風は、平安時代の能書家であり三跡の一人に挙げられる。小野篁の孫にあたり、能書の故をもって、醍醐・朱雀・村上の三朝に歴任した。彼の筆跡は野跡といわれ、その時代の社会情勢を反映し意識的に日本風の書を書こうと努力した。

温順優雅な道風の書風は、藤原佐理・藤原行成に受け継がれ、純日本風の書として確立するに至る。

この作品は、醍醐天皇が宮廷に置く屏風の揮毫を、当時第一の能書家・小野道風に命じて作らせたものである。完成した屏風は現存しないが、その下書きである「土代」が伝えられている。本来は色紙形の用紙であったと推測されるが、現在は卷子本として仕立てられている。

大江朝綱の七言律詩・絶句が百七行にわたって書かれているが、下書きであるため所々に書き入れや修正が見られ、道風の書作における苦心・工夫の跡が感じられて面白い。

中国書道の影響を強く受けた三筆の書とは異なり、豊かで温みのある書風ではあるが、線によどみやすぎがなく、緊張していることを理解し、学ぶことが大切である。

(春廣)

4月25日正午必着

教育部毛筆



こう
高

けっ
潔

中学一年

雨宮春聲先生書



かげ
陽

ろう
炎

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



しゅっ
出

はっ
発

小学五年

横
戸
春
龍
先
生
書



き
起

げん
源

小学六年

横
川
春
川
先
生
書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

4月25日正午必着



き
生

いと
糸

小学三年

藤田幸春先生書



あい
合

ず
図

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

く さ 小学一年・幼年



森戸春濤書

小 犬 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

野山には色とりどりの草花がさいている

小学五年

坂道を上りきると遠くに山が見えました

小学六年

春の緑に包まれて野山は百花咲きほこる

中学

本々の美しさはわが心を清らかにしてくれる

一般(級位)

み吉野は山もかすみて白雪のふりにし里に春は來にけり

み吉野は山もかすみて 白雪のふりにし里に 春は來にけり (藤原良經)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

い	た
る	い
か	
	く
さ	じ
け	ら

幼年

と	は
ん	と
で	が
き	
ま	一
し	わ
た	

小学一年

さ	風
く	に
ら	ま
の	い
花	ち
び	る
ら	

小学二年

し	白
た	ち
ゆ	よ
う	う
ら	の
ん	形
船	を

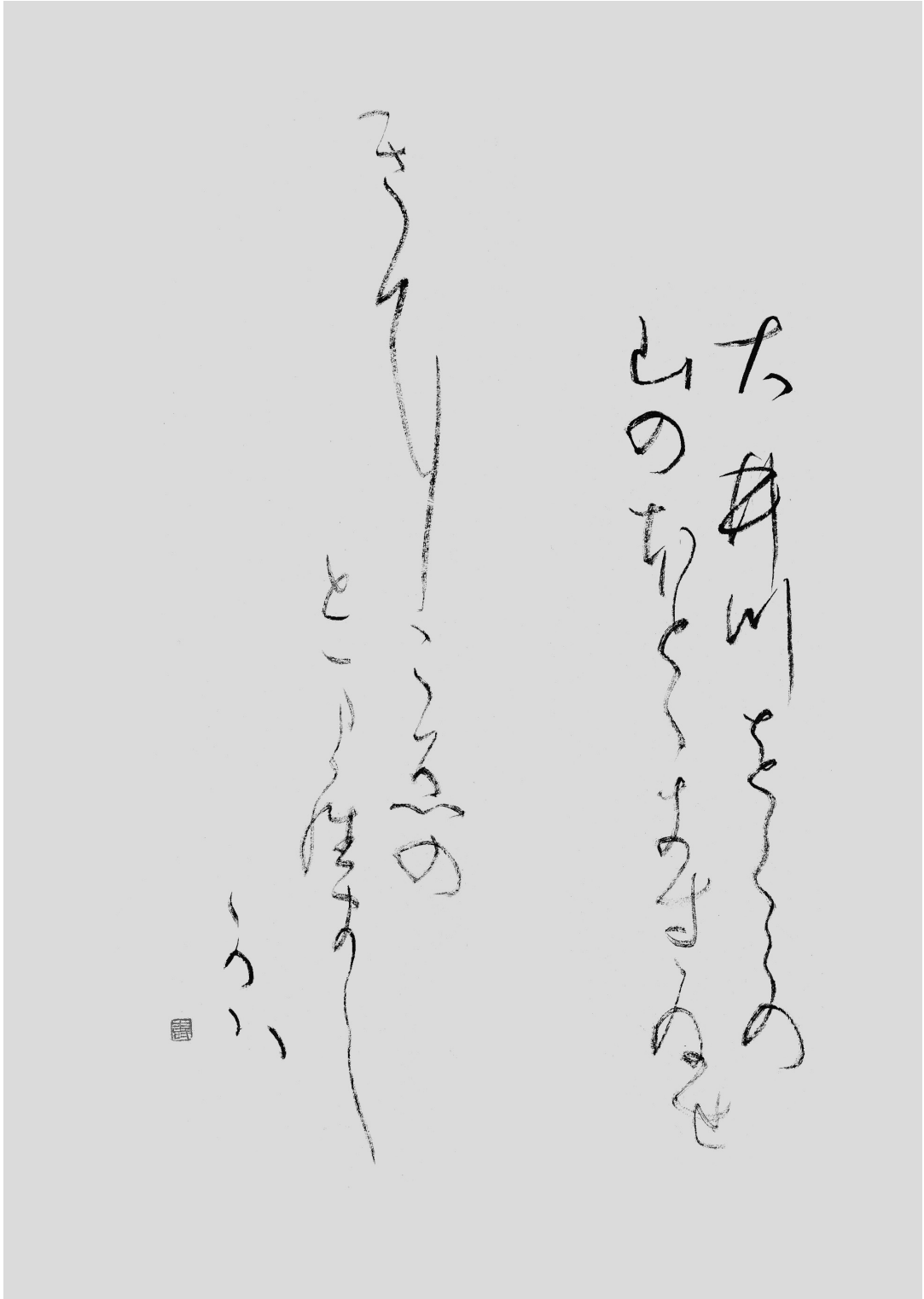
小学三年

ま	今
た	日
明	は
日	あ
あ	り
お	が
う	と
ね	う

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

大井川をぐらの山のほととぎす
耳にこゑのとまらましかば
(西行法師)